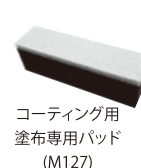


1.施工前準備

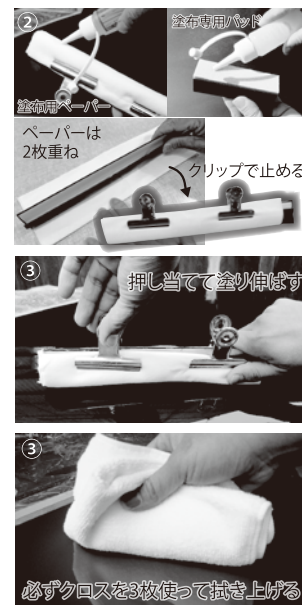
- GlassBodyCoat 標準（本品）
- 塗布専用パッドまたは塗布用ペーパーと塗布用台座ゴム
- MFクロス3枚（必ず3枚をご用意ください）



2.施工手順

手袋などの保護用具をお使いください。

- ①施工面の被膜や油分、埃などを洗浄してください。下地洗浄が不十分な場合、油膜や汚れに重ねてコーティング施工をするとトラブルの原因となります。※下地洗浄方法は施工面の材質などに適したものをお選びください。自動車の場合は弊社の「ポリピカシャンプー（M043）」を推奨しています。詳しくは弊社までお問い合わせください。
- ②塗布専用パッドもしくは塗布用ペーパーに本品を多めに出してください。
※塗布用ペーパーの場合は使いやすい大きさに折り畳むか、2枚重ねて折り畳み塗布用台座に巻きつけてご使用ください。
- ③作業面に液が付いている面を押し当てゆっくり丁寧に小さな面積（1ブロック）に塗り伸ばします。その後（夏期:1分/冬期:3分が目安）3枚のMFクロスを使い拭きあげます。
【MFクロス①】粗拭きあげ…ゆっくりと粘りを感じながら優しくなぞるように擦ってください。※ゴシゴシ擦ると品質劣化の原因となります。
【MFクロス②】仕上げに近い丁寧な拭きあげ…再び優しくなぞるように擦ってください。
【MFクロス③】最終仕上げの拭きあげ…完全に斑がなくなるように丁寧に吹き上げてください。
- ④②③の作業を小さな面積（1ブロック）ごとに繰り返し行い、乾燥（夏期:40分/冬期:2時間が目安）すれば完成です。



二度塗りをする場合

一度目の作業（上記①～④）を乾燥まで完了したのち、再度一度目の作業を繰り返し行ってください。

さらに光沢と持続力をお求めの場合

本品を塗布後24時間以上経過してから弊社製「GlassBodyCoat専用コンディショナー」を重ねて塗布します。

施工面に「GlassBodyCoat専用コンディショナー」を薄く広く噴射しMFクロスで軽く拭きあげてください。※噴射量は標準的なボンネットに対して約20回噴射（6mL）が適量です。



専用コンディショナー (M095)

施工のポイント・注意

- 本品をいきなり大きな面積に塗らず、必ず小さい面積（1ブロック）ごとに塗布～拭きあげを行ってください。
- 十分液が行き渡るよう、途中で液を補給しゆっくり引き伸ばすように塗布してください。また、液はたっぷりとお使いください。少なめに塗布すると、膜圧が極端に薄くなり、美観が損なわれるだけでなくトラブルの原因となります。
- トラブルの原因となりますので本品を塗布後、拭きあげを行わずに硬化させるのはお止めください。

3.施工後のお手入れ

- 施工乾燥後（夏期:40分/冬期:2時間）より自動車の走行は可能ですが、一週間は洗車や表面を擦らないでください。
- 水をボディ全体にかけ、MFクロスで拭きあげるだけのお手入れで美しい外観が維持できます。
- 水洗浄時に「AEON活性コート油性(M075)」を塗布してからMFクロスで拭き上げることによって施工当初の高性能が蘇り、耐久性が飛躍的に向上します。

